

平成26年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

消防及び防災に関する知識の普及及び啓発、調査及び研究、講習会の開催等を行うことにより、防火・防災意識の高揚を図るとともに、災害に強い街づくりを目指し、もって社会公共の安全及び福祉の向上に寄与することを目的として次の事業を行った。

(1) 和歌山市消防局防災学習センター運営事業

ア 和歌山市消防局防災学習センターの運営に係る業務について、平成26年4月から平成27年3月までの1年間、受託者として同センターの運営にあたり施設の見学案内を行った。

(平成26年度の入館者 11,812人

・毎日新聞特別号(9月)・毎日新聞紙面(1月)でPR)

イ 地震体験車に係る業務については、防災学習センター見学案内の一環として、防災意識の高揚及び防災に対する知識の向上を図った。

(平成26年度の利用者数 10,988人※イベント派遣時の利用者含む)

ウ 4月初旬に市内の全保育園、幼稚園、小学校と県下・大阪府下の小学校に学習センター利用案内を協会独自で送付し、団体利用数のアップを図った。

(県内 361通、県外 30通)

エ 7月19日から8月31日の夏休み期間中毎日、防災学習センター内でイベントを開催。小学3年生以下には未来の消防車・救急車の塗り絵を、4年生以上には防火防災クイズラリーを実施。小さな子どもから大人まで防災学習センターに来館していただくことにより、防火防災意識の向上を図るとともに、来館者アップも図った。

(TVCM 18本、ホームページ、こども市報でPR。

クイズ参加人数 199名、ぬり絵参加人数 117名)

(2) 防災教育事業

ア 『子どもなかよしまつり&和歌山音楽大行進』への参加において、会場に地震体験車を派遣し、地震時の行動力を身につけることができるように指導した。

(平成26年5月5日 利用者 250人)

イ 和歌山市消防局防災学習センター及び消防局の施設を利用して、平成26年7月26、27、28日に夏休み防火防災スクールを開催し、親子で楽しみながら火災予防意識の向上と災害時の行動力を身につけることができた。

(参加人数 小学生 87名 保護者等 93名)

ウ 10月、11月、12月の3カ月間、防災学習センター内で「おえかき展」を開催。夏休みイベントで「未来の消防車・救急車を描こう!」に参加いただいた子ども達の作品を車両別に展示するとともに、防火啓発や救急車の適正利用を呼びかけました。

平成26年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

- エ 和歌山市消防局内において、市民の防火・防災に対する意識の向上を図るため、防火防災絵画展を平成26年12月5、6、7日の3日間で実施。

	小・中学校の部	幼年消防クラブの部
応募数	95作品	86作品
結果	消防協会長賞 1点	消防協会長賞 1点
	消防局長賞 1点	消防局長賞 1点
	優秀賞 6点	
絵画展来場者	171名	

- オ 市民をはじめ市内の各種団体及び会員事業所を対象に防火・防災等出前講座を開催し、地震、津波、火災、その他救急に関する対策や対処方法を指導した。

(出前回数 55回 受講者6,769人)

- カ 会員事業所を対象に防火・防災に関するDVDの貸出しを行った。

(貸出し件数 6件)

(3) 防火防災広報等事業

- ア 春と秋の火災予防運動、年末火災特別警戒で防火啓発を実施。

	実施日	実施内容
秋	11月 9日～15日	TVCMにて防火啓発 12本
春	3月 1日～ 7日	TVCMにて防火啓発 12本
年末	12月15日～12月31日	TVCMにて防火啓発 21本

- イ テレビ、ラッピングバス、啓発旗などの広報媒体やイベントへの協賛により防火防災意識の向上を図った。

	実施日	実施内容
防災週間 (防災の日)	8月30日～9月5日	TVCM 6本 産経新聞特別号で防災グッズ普及促進広告
紀州おどり	8月4日	協賛 (うちわ・パンフレット等)
高齢者等防火推進週間	9月13日～19日	TVCM 6本
防火啓発バス	通年	うっかり火災防止啓発
第14回和歌浦バイマ ラソン With ジャズ	10月28日	協賛 コース内に啓発旗25本

平成26年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

- ウ 救急車の利用増加・救急隊員の現場到着時間の遅延を防止するために、救急車の適正利用を呼びかけた。

	実施日	実施内容
ラッピングバス	通年	適正利用の呼びかけ
救急医療週間 (救急の日)	9月8日～14日	TVCM 6本
第14回和歌浦ベイマ ラソン With ジャズ	10月28日	協賛 コース内に啓発旗25本

- エ 防火啓発用語入りエコバックを作成し、各種週間やイベントで消防職員の協力のもと配布。

- オ 会員事業所等に「消防協会だより」を年1回発行し、配布。

(1月 700部)

- カ 防火防災絵画展入賞作品を活用して、カレンダーを作成。絵画展応募者全員と市内の保育園、幼稚園、小学校、支援学校及び会員事業所に配布し、防火防災意識の向上を図った。

(カレンダー作成部数 1,000部)

(4) 講習事業

- ア 各種講習会について、平成26年4月から平成27年3月までの1年間、受託者として下記講習会を実施した。

i) 甲種防火管理新規講習	7回	受講者	536名
甲種防火管理再講習	1回	受講者	53名
防災管理新規講習	1回	受講者	56名
防災管理再講習	1回	受講者	7名
ii) 患者等搬送乗務員基礎講習	1回	受講者	5名
患者等搬送乗務員定期講習	1回	受講者	8名
iii) 普及講習	54回	受講者	2,180名
普通救命講習	84回	受講者	1,985名
上級救命講習	4回	受講者	78名

- イ 上記講習会にともなう各種講習テキストの販売を実施した。

i) 甲種防火管理新規講習テキスト	534冊
甲種防火管理再講習テキスト	53冊
防災管理新規講習テキスト	56冊
防災管理再講習テキスト	7冊
ii) 患者等搬送乗務員基礎講習テキスト	5冊
iii) 応急手当講習テキスト	176冊
心肺蘇生音声誘導器	1個

平成26年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

(5) 防火防災用品等普及事業

ア 非常持出品等の災害発生時に必要な防災用品の普及促進を図った。

i) 産経新聞・毎日新聞特別号・リビング和歌山に広告掲載(9月)

毎日新聞紙面に広告掲載(1月)

販売個数 : 非常持出袋セット 97セット

非常食おこげ 67個

非常食五目ご飯 10個

ii) イベントにて、防災グッズの展示販売及び非常食の試食販売を実施した。

(ふくふく祭り、砂山ふれ愛フェスタ、第11回リビングフェスタ)

販売個数 : 非常食おこげ 29個

非常食五目ご飯 53個

イ 消防図書等の書籍の販売を行った。(1,065冊)

(6) 市民防災大学講座開催事業

市民防災大学公開講座について、和歌山市(総合防災課)から委託を受けたので企画、立案及び会場運営、アンケート調査、報告等の業務を実施した。

	実施日	受講者
公開講座	1月18日	62名

(7) 5団体に関する事業

和歌山市危険物防火研究会、和歌山市防火管理者連絡協議会、和歌山市防火管理者連絡協議会各支部、和歌山市LPガス防火研究会、和歌山市消防交友会の経理業務について、平成23年6月から委託を受けたので、引き続き同団体の業務を行った。

(8) その他和歌山市消防協会の設立目的を達成するために必要な事業

ア 防火協力団体や各種研究会への広報活動支援を行った。

イ 協会充実に関する調査等の調査研究視察を実施した。

ウ 消防職・団員に対して、優良表彰を行った。

(3月8日 高松分団・和歌浦分団・東山東分団)